

令和6年度(令和5年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	25-3																																						
PDCA	主要事業名	乙川中部土地区画整理事業	部課名	建設部市街地整備課	担当 内線	竹内 453																																							
P	総合計画： 4 - 2 - 1 単位施策： 市街地 全体事業期間： 平成 6 年度 ～ 令和14 年度 全体事業費等： 18,565,000 千円 会計 乙川中部土地区画整理事業特別会計 歳出科目： 01.01.01.02.50																																												
	事業概要等	事業概要： 乙川中部地区の土地区画整理を実施することにより、道路・水路・公園など公共施設の土地基盤を整備するとともに、土地利用の再編成を行い、良好な住環境の形成を図る。地区内には、本市の道路網の骨格となる都市計画道路3・3・21環状線が計画されており、早急な整備が望まれているため、あわせて整備を進める。																																											
		事業目的： 土地区画整理による土地利用の再編と公共施設等の都市基盤整備により、良好な街づくりを進める。																																											
		事業内容： 良好な住環境の形成と（都）環状線の整備を図るため、区画整理工事、測量調査設計業務委託、支障物件移転補償等を行う。																																											
		問題点・課題等： 警察、事業者、地元自治区など関係機関と綿密に協議打合せを実施し、国の交付金などの確保に努めながら、跨線橋の完成並びに事業の早期完了を目指す。																																											
	予算額	主要事業とする理由																																											
	1,347,853 千円	道路・下水道・公園など公共施設の都市基盤整備及び土地利用の効率化を進め、乙川中部地区の利便性・快適性など住環境の向上を図る必要があるため。																																											
	財源内訳	得られる成果																																											
	市費 1,138,853 千円	建物の移転や道路整備等が進むことにより、土地利用が図られ、良好な住環境の形成につながる。																																											
	国費 209,000 千円	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値や目指すべき状態</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">建物移転率</td> <td>実績値</td> <td>98.7</td> <td>99.4</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2"></td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">その他</td> <td>実績値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	建物移転率	実績値	98.7	99.4	—	%	目標値	100.0	100.0	100.0	%		実績値					目標値					その他	実績値					目標値			
目標値や目指すべき状態		令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位																																								
建物移転率	実績値	98.7	99.4	—	%																																								
	目標値	100.0	100.0	100.0	%																																								
	実績値																																												
	目標値																																												
その他	実績値																																												
	目標値																																												
0 千円																																													
0 千円																																													
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果																																											
	854,660 千円 (うち繰越分 72,588千円)	物件移転対象 156 件中 1 件の移転が未完了であったが、令和5年度中に残りの 1 件の契約ができ、周辺の道路整備の目途が立ち、土地区画整理事業の進捗を図ることができた。																																											
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果指標</th> <th>令和5年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">建物移転率</td> <td>実績値</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>100.0</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>						成果指標		令和5年度	単位	建物移転率	実績値	100.0	%	目標値	100.0	%																												
	成果指標		令和5年度	単位																																									
	建物移転率	実績値	100.0	%																																									
		目標値	100.0	%																																									
C 課題の整理	事業の評価・課題	C 懸案であった残り 1 件の物件移転補償契約を締結することができ、事業完了の目途を立てることができた。 環状線整備工事では、年度当初の発注が不調となったため、工事を分割発注するなど進捗を図ったが、予定していた令和5年度中の完了は達成できなかった。本工事は、通行止め等の交通規制を伴うため、今後も地元住民や臨海部の企業など関係者と調整を図り、環状線の早期供用開始を目指す。 事業完了に向け、残る工事を着実に実施する必要がある。																																											
A 今後課題の解決に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進 地元住民、臨海部の企業など関係機関へ丁寧に説明し、国道の嵩上げや環状線の工事への理解を得るとともに、円滑に工事を実施する。 既設踏切の除却について、関係機関および地域住民と調整し、着実に実施していく。																																											
	観点別評価	必要性		有効性		効率性																																							
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない	②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない	⑧受益者負担適正化余地 ない																																						
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない																																											

目標項目（予算計上時に作成）

評価項目（決算時に作成）

予算見積書で活用

主要施策の成果報告書で活用